

# 睦会だより



## にこにこ運動会

6月10日に毎年恒例のにこにこ運動会が開催されました。今年は梅雨入り前の晴天に恵まれ、青空の下みんな一丸となって競技に取り組みました。

また、コロナ禍以降3年ぶりにご家族の方々を招待し、競技にもご参加いただきました。家族の声援に励まされ、力いっぱい体を動かしました。

### 主な内容

- ◆就任あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2P
- ◆令和5年度事業計画・役員等紹介・・・・・・・・3P
- ◆フォトグラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・4P～5P
- ◆令和4年度事業報告・決算報告・・・・・・・・6P～7P
- ◆新しい結和のご紹介  
ご奉仕くださった方々・・・・・・・・・・8P





# 就任あいさつ



遠野コロニー  
所長 松田賢雄

日頃より、子ども社会福祉法人睦会（遠野コロニー、石上の園、結和、ほほえみ、はばたき、らいと）に対し、遠野市をはじめ、利用者ご家族様、地域の皆様方、関係諸団体様等、多くの方々から温かいご支援とご協力を賜り、衷心より御礼と感謝を申し上げます。

昨年度までは、同一法人内の石上の園で園長をしておりましたが、今年度より、遠野コロニー所長職を命じられ、再び戻って参りました。遠野コロニーでは6年前まで所長をしており、また、採用時の施設でもありますので、特にも感慨深いものがございます。

さて、昨今の障害福祉施策は、毎年のように改正がなされ、それゆえ、我々職員もその法制度において取り残されることのないよう日々、学習と努力を重ね、障がいを持つ方々の生活に資する障害福祉サービスの提供に努めているところでございます。

当初、身体障害者授産施設としてスタートした当該施設も設立から46年目を迎え、近年では法人全体的に利用者の高齢化、重度化が顕著であり、そういった状況に対応すべく、令和3年度より、遠野コロニーに隣接して、地域生活支援拠点を建設し、その中で、日中サービス支援型グループホーム（24時間対応）の事業を実施して参りました。これからも、多種・多様なニーズに対応する利用者への対応に努めてまいります。また、今年度より、遠野コロニーに隣接して、地域生活支援拠点を建設し、その中で、日中サービス支援型グループホーム（24時間対応）の事業を実施して参りました。これからも、多種・多様なニーズに対応する利用者への対応に努めてまいります。



石上の園  
園長 島浩一

様が笑顔で暮らせる生活の場の提供、喜びと誇りをもって働ける生産活動の場の提供、障害者相談支援、障害児日中一時支援等、障がい者支援を行いながら、新たな遠野コロニーの実現を目指し、職員とともに、勇往邁進する所存でございますので、倍旧のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。就任のご挨拶と致します。

皆様におかれましては日頃より、社会福祉法人睦会及び石上の園に対しまして、深い理解と温かいご支援とご協力を賜り、衷心より御礼と感謝を申し上げます。

当該施設は、おかげさまで、平成8年7月の開所以来、27年もの長きに渡り、ここ綾織の地で地域の皆様に支えられ、遠野市における障がい者支援の一翼を担うことができていると感じております。このたびは、その施設の園長を拝命し、その職責の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

当該施設は、知的障がい者授産施設として開所し、農産園芸事業など、障がいのある方の働く場として地域に根差して活動してまいりました。平成23年10月からは、様々な障がいのある方を支援する施設として、多様なニーズに応えるべく日々鋭意努力しております。

私たちは、障がいのある方との共生社会実現を目指す中で、制度改正等福祉行政の動向を注視し、利用者の重度高齢化、障害の多様化に伴う個々の日中活動の充実といった課題に取り組むとともに、感染症対策といった新たな問題と向き合い、障害福祉サ



結和  
所長 松田芳輝

サービスの提供に努めていかなければならないと痛感しております。

法人が掲げる基本理念である、利用者の幸せを第一に思いを汲み取り、個々を尊重する姿勢を忘れず、利用者が健康で安心した暮らしが続けられるよう懸命に尽くし、皆様からより一層信頼される施設となるよう努めていく所存でございます。今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

この度、障害福祉サービス事業所「結和（ゆうわ）の所長に就任しました松田芳輝と申します。よろしくお願ひします。市民並びに関係者の皆様におかれましては日頃より社会福祉法人睦会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。「結和」は3施設が統合され4月1日より元々綾織町にあった場所にて新たなスタートを切りました。定員も10名から35名となり、今まで少ない人数で日中活動を行っていた利用者には人数が多くなるという事で幾分不安もあつたと思ひますが、法人の運動会など、行事等で顔を会わせていたこともあり現在には問題なく仲良く日々の活動に取り組んでいます。

また、今年度からは筑波ダイカスト工業（株）遠野工場様のご協力を頂き施設外就労も始める事ができました。障害のあるなしにかかわらず社会を構成する一員としてそれぞれが役割を持ち、自分の居場所を見つけ「働く・くらす」を実現し、充実した生活を送れるよう今後も利用者支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 令和5年度 事業計画

昨年末の臨時国会において「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案」が可決され、一部を除いて2024年4月から施行される予定となりました。

このようにわたくしたちを取り巻く状況は著しく変化していく中ではありますが、本会においては基本理念・基本姿勢を基軸として、常に障がいを抱える方に寄り添いながら、福祉サービスの提供に努めていきたいと引き締めたいと思っております。

令和5年度は、こうした状況をふまえながら、令和4年3月に策定した第2次中長期経営計画を基本に障がい福祉事業の推進を図っていきたくと思っております。

## ○第2次中長期経営計画（令和4年度～令和9年度）の確実な遂行

第2次中長期経営計画に基づき「基本理念」「基本方針」を根幹として、法人経営の課題解消を図りながら、安定的経営を目指すため、その確実な遂行に努めます。

具体的な取り組みとしては以下の9項目となります。

- ① サービスの質の向上
- ② 三事業所統合による新たな結和の運営
- ③ 共同生活援助（グループホーム）事業の取り組み
- ④ 利用者の確保
- ⑤ 利用者の適所施設・事業所への移行
- ⑥ 施設外就労による作業の確保
- ⑦ 工賃の向上
- ⑧ 福祉人材の確保
- ⑨ 相談支援事業の取り組み

## ○地域生活支援拠点における面的整備の構築

遠野市地域自立支援協議会と連携し、地域の障がい者の困りごとやニーズ等を明確にすることで、そのネットワーク化を図り、面的整備の構築に努めます。

## ○系統的な法人運営

利用者に対する生活支援、作業支援及び生産的活動、通所利用者の送迎支援、各種行事の企画、職員体制等において施設・事業所間の連携を密にするため、本部機能を十分発揮した組織的な運営に資するよう努めます。

## ○感染症の防止・感染拡大に向けた取り組み

インフルエンザ、新型コロナウイルス、ノロウイルス等の感染防止と拡大防止に向けて、マスクの着用は、職員・利用者ともに推奨するものとし、手洗い・うがい・アルコール消毒等の徹底を図りながら、「かからない・広めない」防止に努める。また、発熱等の諸症状の見られる者は早期の受診を心がけ、その重症化防止に努めます。

## 採用情報

睦会では一緒に働いていただける正職員・臨時職員の方を募集しています。募集している職種・採用人員などはホームページに掲載しておりますので、右のQRコードからご確認ください。皆様のご応募をお待ちしています！



問い合わせ：事務局 0198-66-3530

## 社会福祉法人 睦会 役員紹介

【 理 事 】		
新 里 佳 子 ( 理 事 長 )	遠 山 豊	安 部 全 一
松 田 賢 雄 (業務執行理事/遠野コロニー所長)	立 花 信 一	馬 場 克 尚
【 監 事 】		
細 越 勉	荻 野 優	

(任期：令和5年6月20日から令和7年6月開催の定時評議員会の終結の時まで)



# 競技の様子



風船サンドレース



玉入れ



紅白カーリング



じゃんけん大会



結和お食事処レース

# にこにこ運動会

(6月10日) 於: 石上の園グラウンド



みんなでストレッチ! 準備体操は念入りに

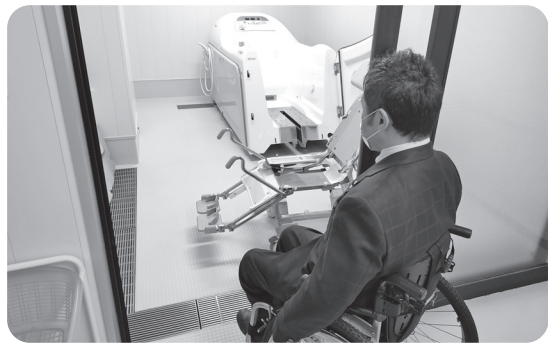


1位をとったぞ!!

フォトグラフ



2月5日、岩手県選出の横澤高德参議院議員が、県内初の地域生活支援拠点であるはばたきの視察にいらっしゃいました。



## バイキング食

(6月22日/遠野コロニー・6月23日/石上の園)



## 岩手県障がい者スポーツ大会

(6月3日/県営運動公園他)



チーム対抗リレー



今年の総合優勝は白組でした



## 【障害福祉サービス事業所 はばたき】

地域生活支援拠点事業等の開設より2年、重度、高齢の障害者を主な利用者とする日中サービス支援型の共同生活援助事業、また緊急時における障がい者の受け入れ施設として短期入所事業の運営を続けました。

主体となる利用者の特徴から年齢や疾病を要因とする体力低下や健康維持の難しさから、長期入院等、入所利用者の変更を余儀なくされたことはありましたが、引き続き重度高齢の利用者を受け入れることで、他事業所の高齢化問題の改善に協力することができました。

また、短期入所事業においては緊急受け入れを主に、一年を通して1.7人の受け入れを行い、それぞれその後の安定した生活につなげることができました。



カラオケ大会

季節行事・ひな祭り

## 【相談支援事業所 らいと】

平成18年10月から遠野健康福祉の里に相談支援専門員を配置し福祉サービスを利用する際に必要となる計画相談と遠野市からの委託相談業務を行ってきました。

委託相談業務における日々の電話相談や窓口業務の他、サービス利用が定着しない方の頻繁な訪問対応、家庭内における日常的な問題（住まいの問題、家族の対応、経済的対応等）対応など、多岐にわたる業務となっていました。それでも委託相談を経て障がい福祉サービスにつながるケースが多いため、さまざまな理由、必要性を鑑み、最適かつ効率的な福祉サービスが受けられるよう対応してきました。

# 令和4年度 決算報告

資金収支計算書の当期資金収支差額は1,550万円の黒字となりましたが、前年度対比では4,771万円の減少となりました。事業活動収支計算書においては、当期活動増減差額が794万円の赤字となり、前年度対比でも1,244万円減少しました。

### 【財産目録】

(単位：円)

資産の部	1,205,026,101	負債の部	251,804,219
流動資産	167,453,835	流動負債	57,530,839
現金預金	63,345,880	事業未払金・未払費用	26,101,123
事業未収金	96,391,141	賞与引当金	17,888,000
その他	7,716,814	その他	13,541,716
固定資産	1,037,572,266	固定負債	194,273,380
基本財産	895,460,466	設備資金借入金	142,500,000
その他の固定資産	142,111,800	退職給付引当金	51,773,380
差引純資産			953,221,882

### 【事業活動計算書】

#### ○収益の部

サービス活動収益	639,994,929
就労支援事業収益	122,036,472
障害福祉サービス等事業収益	517,958,457
自立支援給付費収益	437,985,965
利用者負担金収益	53,356,074
補足給付費収益	8,753,576
その他の事業収益	17,862,842
サービス活動外収益	9,462,638
特別収益	1
合計	649,457,568

#### ○費用の部

(単位：円)

サービス活動費用	653,964,821
人件費	349,232,059
事業費	98,267,341
事務費	56,273,590
就労支援事業費用	120,025,069
減価償却費	44,712,552
国庫補助金等特別積立金取崩額	△14,545,790
サービス活動外費用	3,347,900
特別費用	87,178
合計	657,399,899

# 令和4年度 事業報告

## 【障害者支援施設 遠野コロニー】

利用者とその家族の思いを真摯に受け止め、必要な支援は何かを職員間で話し合い、利用者が望む生活環境にできるだけ近づけるように努めました。新型コロナウイルス感染症により、外出の自粛といったある程度の制限等が利用者にも設けられる中、職員、利用者一丸となって難局を乗り越えられるように感染症対策に取り組みました。

上述の世情により落ち込んでいた作業収益も徐々に回復傾向にあり、利用者の工賃も従来水準を保つことが出来ました。



クリスマス会

## 【障害者支援施設 石上の園】

新型コロナウイルス感染症やその他の感染症への感染予防対策に努め、県や医療機関等より助言を頂きながら、施設内で出来る限りの感染予防策を講じたところではありましたが、利用者をはじめ職員も含め、クラスター状態となりました。しかしながら、ご家族等からのご協力・ご理解を賜り、また、保健所や医療機関等とも連携を図ることで、その収束を迎えることが出来ました。

利用者支援にあつては、障がいの重度化が顕著な状況であり、特にも、過飲水等により、被害妄想や精神的不安定等により問題行動を示す者もありました。それゆえ、医療機関へ相談したり、生活環境を変えたりと多角的なアプローチを行い、安定した生活が営めるよう支援を行いました。また、コロナ禍ではありましたが、施設内で出来る行事を実施することで、利用者さんからは喜びの声も聞かれ、総合的なサービスの質の向上に努めました。



歯科検診



寿司の日

## 【障害福祉サービス事業所 多賀の里】

今年度も新型コロナウイルス感染の予防に努めながら利用者の通所利用に支障をきたさないよう環境を整え支援を継続しました。一部感染者もありましたが皆様の協力によりクラスターに発展することなく収束しました。

6月には「にこにこ運動会」が開催され睦会利用者間の親睦が図られました。また、季節ごとに施設行事を行い利用者の楽しめる時間を設けてました。

日中活動については製品加工事業を中心に配食事業とともにお食事処の営業を行っています。製品加工事業では半導体不足の影響で受注量の減少が見られた場面もありましたが、他の部門で補いながら活動を継続しました。お食事処では、いわて安心飲食店の認証を得て店休することなく営業したこと、SL運行が再開され人流も増えたことで実績も前年度を上回る結果となりました。

また、令和5年4月1日の「多賀の里」「結和」「わさびっ」と3事業所の統合に向けて利用者及び家族への説明と関係機関へ申請を行いながら準備を進め許認可を得ています。



リフレッシュ外出



作業風景

## 【障害福祉サービス事業所 ほほえみ】

各グループホームの実情に照らし合わせ、定員を33名から30名に変更を行いました。このことにより、年度途中からではありますが満床となりました。

また長年のグループホーム運営から、老朽化が進む物件が課題となっていますが、新たな物件を賃貸借することで、利用者の生活環境向上を目指しました。

利用者の高齢化も進んでいることから、「はばたき」や地域の介護保険施設等との連携も行いながら、日々の生活支援や金銭管理のお手伝い、そして健康維持を目的とした通院援助等に努めてきました。

# 結和が新しく生まれ変わりました

障害福祉サービス事業所「結和」は、「多賀の里」および「わさびっと」と統合し、今年度から新しい事業所として生まれ変わりました。現在、30名の方々が自宅やグループホームから通所利用しています。活動内容としてはお食事処や配食事業、あやおり結和協力会様の産地直売所運営協力、障がいをお持ちの方への就労の場の提供（就労継続支援B型サービス）を行っています。

また「結和」では、今年度からの新たな取り組みとして、施設外就労を開始しています。施設外就労とは、利用者と職員がユニットを組み、企業様から請け負った作業を当該企業内で行うことであり、就労能力や工賃（賃金）の向上および一般就労への移行を目指す活動のことを言います。

現在、利用者4名が筑波ダイカスト工業（株）遠野工場様のご理解とご協力をいただきながら、段ボール組み立て作業に取り組んでいます。

利用者の方々から「企業でいろいろな経験ができることは貴重であり、その経験を重ねることは将来の就職につながるように感じています。」「段ボールの仕切りパーツをシートから外す作業が好きです。」といった感想が聞かれています。

企業担当者からは「地域の労働力不足が深刻化する中、作業していただき非常に助かっています。利用者の方の中には雇用の可能性がある方もあられます。」との声をいただいております。施設外就労はご本人、福祉事業所、企業の3者にとって大きなメリットを共有できる就労形態であり、今後も続けていきます。



「結和」国道283号線からの風景



施設外就労の様子

ありがとうございます  
ございました

ご奉仕くださった皆さま

(令和5年2月～令和5年6月)

○伊藤清子様  
野菜寄贈

○菊池聡様  
ジューズ寄贈

○佐々木俊夫様  
ひな人形寄贈

○常堅寺様  
花苗寄贈

○常堅寺様  
花苗寄贈



常堅寺様からいただいた花苗を植えかえました。どのお花もととてもきれいに咲いています。

## 編集後記

出不精の自分でも市内に観光客の方々が増えてきたことを実感するこの頃です。イベントが活性化していく世の中にならば、施設でも利用者の方々楽しんでいただける行事を開催していきたいと思っておりますので楽しみに！